

平成27年度事業報告書

社会福祉法人大任町社会福祉協議会

1 事業の概要

近年では、各地で大規模な自然災害が続き、災害が少ないと言われる私たちの町、大任町でも地域ぐるみで防災、減災を考えなければならない状況にある。

また、地域における連帯感の希薄化などは、有事の際に必要な速やかなる行動の制約になりかねないと不安さえ感じている。

このような状況の中で「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の実現のため、団塊の世代が75歳以上になる、所謂2025年問題に向け、地域活動の再構築の準備とその対応のため、災害訓練や防犯活動等を通じて高齢者だけではなく、障がい者や子育て世代を巻き込んだ公助・共助・自助の力を強めるための工夫と居場所づくりが必要であると思っている。

2 事業の状況

(1) 法人の会務

イ 理事会の開催状況

平成27年度第1回理事会

(期 日) 平成27年5月26日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 理事定数8名中8名出席、監事定数2名中1名出席

議案番号	内 容
第 1 号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業報告の承認を求めることについて
第 2 号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会決算の承認を求めることについて
第 3 号	平成26年度福岡県共同募金会大任町支会事業報告の承認を求めることについて
第 4 号	平成26年度福岡県共同募金会大任町支会事務費決算の承認を求めることについて

平成27年度第2回理事会

(期 日) 平成28年3月29日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 理事定数8名中7名出席、監事定数2名中2名出席

議案番号	内 容
報告第1号	専決処分の報告について
第 5 号	平成28年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業計画の同意を求めることについて
第 6 号	平成28年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会予算の同意を求めることについて

第 7号	平成28年度福岡県共同募金会大任町支会事業計画の同意を求めることについて
第 8号	平成28年度福岡県共同募金会大任町支会事務費予算の同意を求めることについて
第 9号	社会福祉法人大任町社会福祉協議会評議員の委嘱の同意を求めることについて

ロ 評議員会の開催状況

平成27年度第1回評議員会

(期 日) 平成27年5月26日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 評議員定数17名中13名出席、監事定数2名中1名出席

議案番号	内 容
第 1号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業報告の承認を求めることについて
第 2号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会決算の承認を求めることについて

平成27年度第2回評議員会

(期 日) 平成28年3月29日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 評議員定数17名中14名出席

議案番号	内 容
第 3号	平成28年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業計画の同意を求めることについて
第 4号	平成28年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会予算の同意を求めることについて

(2) 地域子育て支援センター

地域子育て支援の拠点として設置された地域子育て支援センターでは、年間を通じて新生児宅の戸別訪問46件と親子のスキンシップを目的として乳児を対象とした「わかばちゃんDay」を1クール6日間、年4回の24日開催し参加延べ194名、託児付で親子の思い出づくりができるように年10回の手作り講座「つくっCiao」に93人の参加があった。

また、子育て親子の交流の場として施設を開放し、年間334名の利用があり、前年度比1.21倍と増加した。

さらに、未就学児を対象として昨年同様平成27年度も基本的生活習慣習得事業を受託し、町内3保育園と話し合いながら延べ1,578人の園児に対してダンス・体操・読み聞かせ・折り紙などの教室を通じ、着替えや話を聞く態度などを身に付けることができるように事業を行い、さらに①「夜9時までに寝よう」、②「食事のときはテレビを消そう」、③「みんなで決めた今月の約束」と3つの目標を定め、達成できたらオリ

ジナルカレンダーにシールを貼るという手法を用いるなど工夫をした。

そして、本事業を展開するにあたり、女性民生委員と主任児童委員の協力を得てミーティングを行い、情報の共有を図った。

(3) 配食サービス事業

毎週火曜日に実施している本事業は、大任町食生活改善推進委員会のボランティア精神により支えられ、年47回、年1,968件、延べ2,101食を提供した。今後もより良い事業運営、地産地消の食事づくりを目指すとともに衛生管理等を徹底したいと考える。

(4) 共同募金

本年度も10月1日から12月末日までの間、「共同募金運動期間」と定められていることから本会も共同募金に協力、募金活動については、行政区における戸別募金として行政区長をお願いした。

本年度の目標額 555,000円

本年度の実績額 594,885円

平成27年度社会福祉協議会枠(B枠)配分金(372,300円)の主な使途については、下記のとおり。

事業名	金額	備考
高齢者福祉活動費	247,500円	配食サービス、ゲートボール大会開催
障害児者福祉活動費	95,500円	配食サービス
児童・青少年福祉活動費	5,000円	福祉教材配布事業
住民全般福祉活動費	24,300円	花いっぱいボランティア事業

(5) 葬祭祭壇貸付事業

平成27年度 3件

(6) ボランティア関係

社会福祉法第109条に基づき、共同募金配分金を主な財源として「大任町花いっぱい運動」を後押しするためボランティア活動の支援を行ってきた。

平成27年度は2回(5月17日・11月29日)の花植えを行い、町内外を問わず、延べ900人以上の参加があった。

(7) 心配ごと相談事業

毎週水曜日午前10時から行っている本事業は、民生委員・児童委員が主に相談員として相談に対応している。

本年度は、9月2日が警察・法務局も加わった合同相談を実施した。

本年度の相談件数は、4件で家族間の問題、金銭トラブルについてであった。

(8) 総合福祉センター及び老人福祉センター事業

本年度4月から、従来の老人福祉センターに加えて総合福祉センター事業を受託し、事業を行った。ホール及び研修室の利用状況については、年間8,676人(内ホール8,086人・研修室596人)であった。

図書室の利用状況について入館者数5,929人、図書資料貸出件数は8,756件で男性よりも女性利用者が多いのが現状である。

また、本により親しんで貰うように年2回の読書週間イベントを開催した。

今後は、子育て支援センターと協働した事業の実施を図り、幼少期から家で本を読む「うち読」活動に寄与したいと考えている。

(9) コミュニティバス運営事業

本町のコミュニティバスは、町内17バス停を設置し、各バス停間を運行しながら田川伊田駅に向かうコミュニティバス(西鉄バス代替2台運行)、手を挙げて貰うなどの乗車意思を示して頂くと停車し、町内を巡回の後、添田駅に向うコミュニティバス(福祉バス1台運行)の2形態を採用している。

平成27年度の田川伊田駅に向かうコミュニティバス利用者数は、年66,013人(1日平均乗車180.86人)で乗降調査から通学生、道の駅やスーパーの利用などが読取れ、昨年度と同様の傾向が続いている。

一方、町内を巡回したあと添田駅に向うコミュニティバス利用者数は、年3,084人(1日平均乗車12.85人)で同じく乗降調査の結果から道の駅や病院の利用者が乗車している様子が読取れ、これらも昨年度と同様の傾向が続いている。

また、本年度は、強風により上今任バス停と下今任バス停で被害があった。

(10) 地域包括支援センター

本年度4月から介護予防・日常生活支援総合事業がスタートした。

4月には、役場で総合事業についての事業所に対する説明会が行われ、9月から本町内全ての要支援1・2の方のケアプランを集約し地域包括支援センターが作成することとなった。

また、地域包括ケアシステム構築に向け、既存の団体である老人クラブと連携しながら、障がい者や子育て家庭を含めた地域づくりに取り組んだ。

本年度の地域包括支援センターで直接行った年間ケアプラン作成数は1,491件、介護予防支援事業収入は6,264,380円で、年度途中までの一部委託事業分も合わせた本町全体の介護予防に係るケアプラン件数1,678件、事業収入は7,209,020円であった。

なお、総合支援・相談業務は、新規36人、延89回、高齢者虐待等を含む権利擁護業務の相談、利用はなかった。